



『きつね、きつね、きつねがとおる』

伊藤遊／作 岡本順／絵 ポプラ社 2011

おとなは いいなあ、はなよめさんも だいどうげいも きれいな おはなだって せのびしなくても みえるんだもの。でもね、こどもにはみえるのに おとなには みえないものも あるんだよ。 それはね、きつねがね…。ふしぎな おはなしです。

『悲しい対馬丸の話』



『悲しい対馬丸の話 命こそ大切』

久野登久子、山本和昭／文 松平恒忠／英文
佐藤八重子／訳 フレーベル館 2009

せんそうが はげしくなつて おきなわは きけんに なつてきました。こどもや おんなのひと おとしよりは つしままるに のつて「そかい」するこゝに なつたのです。かなしい せんそうの れきしが かたられていゝます。



『やくそくのどんぐり』

大門高子／文 松永禎郎／絵 新日本出版社 2010

しあわせな まいにちを おくつていゝても いつも どこかで おびえていた スンギさん。せんそうちゆうに ひろしまで げんぱくに あつていたのです。ちりようを とおして しりあつた せんせいとの ゆうじようや へいわへの ねがいが あわい しきさいで えがかれていゝます。



『雨をよぶ龍 4年にいちどの雨ごい行事』

秋山とも子／文・絵 童心社 2009

4年にいちど、ながさ 36メートル、おもさ 3000キロのりゆうじんが、30人もの男たちにかつがれて町をねりあるき、かんだちがいけにむかひます。雨ごい行事のじゅんぴの様子から わかりやすく 書いてあり読みごたえが有ります。



『野球場の一日』

いわた慎二郎／作・絵 講談社 2011

あさ 9じ。ゆうがた 6じから はじまる しあいに むけて、やきゆうじようの いちにちが はじまります。やきゆうじようの せつびや はたらくひと、さらに、やきゆうの どうぐまで、こまかい えが とても たのしい 1さつ。ナイターを みに いつた きぶんに なれます。





『わたし、くわがた』

得田之久／ぶん たかはしきよし／え 福音館書店 2011

からだかちいさくてめだたないくわがたのめすですが、ちいさな「あご」には、たまごをうむためにかれきにあなをあける、つよいちからがあります。あまりしられていない、くわがたのめすのようすがかいてあるほんです。



『わたしが おひさまだったら』

片山健／さく 福音館書店 2010

わたしが おひさまだったら どうしようかな。まず あいさつをしてみんなと いっしょにあそんだり べんきょうしたり おひるねをしたり。こどもたちがいきいきと えががれたげんきになれる いっさつです。



『よるのおきやくさま』

加藤幸子／ぶん 堀川理万子／え 福音館書店 2011

おばあちゃんのうちに とまりに いきました。おばあちゃんはひとりぐらしですが、ねこもいるし、よるになると おきやくさまがおおぜいくるから さびしくないといひます。そとは もう まっくら。いつ おきやくさまがくるのかな。



『白いなす』

黒瀬圭子／文 宮崎耕平／絵 石風社 2010

そのころ、日本は、せかいのくにぐにと、せんそうしていました。いつこさんのおとうさんやおにいさんも、せんそうにいました。おかあさんがつくってくれる白いなすは、いつこさんたちにとって、なつのたのしいできごとでした。戦争を考える絵本です。



『へちまのへーたろー』

二宮由紀子／作 スドウピウ／絵 教育画劇 2011

ちいさなおんなのこに「きゅうり」とまちがわれたへちまのへーたろー。じぶんがへちまであることをわかってもらおうといろいろどりよくしますが、あいかわらず「きゅうり」とまちがわれてばかり。めげないへーたろーは…



『あさがお』

荒井真紀／文・絵 金の星社 2011

ちいさなたねからねがのびて、ふたばがひらき、つるがのびて、つぼみがふくらみ、みごとなはなをさかせ、またたねができる、アサガオのいっしょうをかいたえほん。とてもわかりやすく、絵がうつくしい絵本です。



『うみべのいちにち』

ナタリー・テュアル／作 イリヤ・グリーン／絵
ときありえ／訳 講談社 2010

ロラとレオはすなあそびをしています。おしろをつくったり、かいがらやきれいなこいしをひろったり。とってもたのしいうみべのいちにちが、あざやかなしきさいでえがかれています。



『これ、もっていき』

村上しいこ／文 伊藤秀男／絵 講談社 2011

「これ、もっていき」って、おつかいのかえりみちに、だれかによびとめられました。さいしょは、きゅうりばたけのおっちゃん。つぎは、トマトをかかえたおばあちゃん。そのつぎは…?とびきり不思議で楽しいお話です。



『ぼくとおおはしくん』

くせさなえ／作 講談社 2011

よしだくんはなつやすみにこうえんで、かめをかつているおおはしくんにであいました。ふたりははしのしたにひみつきちをつくて、そこでいっしょにかめをかうことにしました。ところがあるひ、かめがにげだしてしまい—男の子の友情をえがいた心温まる絵本です。



『はらっぱむらのなつまつり』

かとうまふみ／作・絵 フレーベル館 2009

バッタのぼうやははじめてのなつまつりにおおはしやぎ。ついおかあさんとのやくそくをわすれて、ホテルのぎょうれつについていきまいごになってしまいます—虫が大好きな子どもにぴったりの、かわいらしい絵本です。